ACANTHUS NEWS

平成13年 2001.5

月刊アカンサスニュース

金沢大学広報紙 第57号

「アカンサス」（和名「ハアザミ」）は，南ヨーロッパ原産で葉を様式化した文様はギリシャ建築などで有名。金沢大学の校章も，このアカンサスの葉を図案化したもの。

TOPNEWS

林学長 教壇に

熱心にメモをとりながら学長の講義を聴く学生たち

林学長は，教養的科目「学問への誘(いざな)い－金沢大学の目指すもの－」の講義を行った。この授業科目は，学長をはじめ，副学長や全学部長が，大学で学ぶことの意義や学問の魅力について講義するもの。

なお，林学長は，学長としては初の講義で，「21世紀の大学と在り方」と題して4月20日及び27日の2回担当した。

大学・大学院等 2,845名の新入生（附属学校園は464名）

4月7日，平成13年度学部等入学宣誓式が，金沢市観光会館で，大学院入学宣誓式が医学部十全講堂で挙行された。

なお附属学校園でも，4月9日以降それぞれ入学，入園式が行われた。

（入学式における学長告辞及び入学者数は次頁に掲載）

学長の告辞を聴く新入生

ISSN 1346－0684

学長告辞

平成13年度入学宣誓式における学長の告辞

本日ここに，1941名の新入生を迎え，平成13年度金沢大学入学式が挙行されましたこと，誠に慶賀に存じます。新入生の皆さん，おめでとうございます。心からお祝を申し上げます。

諸君が入学された金沢大学の歴史は，大きく3つの時期に分けて次のように言うことができましょう。第一期は，文久2年（1862年）加賀藩の種痘所にはじまり，明治7年の石川師範学校，明治20年の第四高等学校，大正9年の金沢高等工業学校など，今の本学の母体となっている高等教育の学校群が，天下の書府と呼ばれた石川県加賀藩の歴史を引継ぎ，我が国の近代化に大きく貢献した時期です。第二期は，昭和24年（1949年）にこれらの学校が統合され新制の総合大学となり，高等教育と学術研究の深化・拡大によって，現在ある我が国の発展をもたらした時期です。日本海側の基幹大学として，50有余年にわたり約7万名の卒業生を輩出しており，今も各界で大勢の先輩達が活躍しているところです。そして今，本学は第三期に突入しています。21世紀を迎えた本学は，「人類の知的遺産の継承と革新を目指し，地域と世界に開かれた大学」を基本理念とし，学部教育の充実と大学院を重点化した総合大学として，新しい一歩を踏み出そうとしています。

21世紀は，ますます加速するグローバライゼーションと，それに流されまいとするローカライゼーションが競合する時代です。グローバル化を促進しているのは，政治やイデオロギーの壁を低くする国の成熟であり，地球空間を縮小する科学技術の発達であり，さらには環境問題などに見られる地球市民としての意識の向上でありましょう。そして，この傾向は今後一段と強くなるはずです。歴史学者の木村尚三郎氏はこのようなグローバル化を評して，現代人は時間の概念が薄れ，空間人として生きはじめているとしています。電子商取引き，地方の国際空港，眠らない都市などはその例であり，そこには時間によらないグローバルな活動空間が生じつつあります。

新入生を前に告辞する林学長

他方，ローカライゼーションは，民族，宗教，言語などに依拠した国や地方の個性化であり，地球が存続するためには，このような文化の個性こそ大切と言えましょう。文化に厚さと深みがあり，かつそれが多様であることが，地球が強い生命体であるための条件です。しかし，このようなローカライゼーションは，グローバルな流れに埋没しかねない状況にあります。ＥＵ圏がキリスト教文明を基盤としてアメリカ合衆国とは異なる一つの連合体を形成しつつあるのも，これに対する新たな動きと言えましょう。そして，我が国は先進諸国の中で，一人孤高を維持しています。コソボやアルバニアに見られるような民族紛争，中東におけるような宗教の対立，朝鮮半島などのように国境に関る問題もなく，温暖な気候と豊かな自然に恵まれた平和な国です。

目次

林学長 教壇に…… 1
大学･大学院等 2,845名の新入生（附属学校園は464名）… 1
平成13年度入学宣誓式における学長の告辞…… 2
大学院医学系研究科，部局化…… 4
本学に機器分析センター…… 4
「なんでも相談室－よるまっし－」オープン…… 4
52回を数える「暁烏記念式・記念講演会」…… 5
工学部塚脇助教授　アンコールワットへ…… 5
アメリカ法の日本法への示唆－アメリカ法の最前線－法学部で特別講演会… 5
「21世紀の超高齢化社会における医学課題の克服を目指す教育研究拠点」をめざして…… 6
夜空に輝く南極のオーロラ…… 7
附属小学校で交通安全教室…… 7
新任教官説明会…… 8
新規採用者研修…… 8
水上事務局長　附属養護学校を視察…… 8
自己啓発研修はじまる…… 8
春の叙勲受章の方々（本学関係分）…… 9
海洋化学学術賞を受賞…… 9
石川テレビ賞を受賞…… 9
空き缶拾い清掃…… 9
「金沢子ども科学財団」設立記念式典であいさつ…… 10
新任教官説明会で説明する副学長（4月5日）…… 10
本学へのお客さま…… 10
仮オープンさっそく「第1回ミニ講演」…… 11
新「サテライト・プラザ」を見学…… 11
男子バスケットボール部：全国優勝…… 11
角間の里山自然学校で「春の植物観察会」…… 12
キャンパス点描…… 12
編集後記…… 12

学長告辞

学部等入学宣誓式

しかし，平和で安定であったが故に，グローバル化の流れでこれまでの脆弱さが曝けだされ，今や，政治，経済，外交，そして教育においてさえもいろいろな問題が吹き出しており，そのため行財政改革や教育改革など，体制の見直しが進められているところです。なかでも国の危機管理の甘さや，国民一人ひとりの公に立つ意識の低さは，極めて深刻な問題でありましょう。21世紀は，このようなグローバライゼーションとローカライゼーションを共存させることが人類の責務であり，本学の理念「地域に根ざし，世界に開く」は，まさにここにあります。

諸君はこのような時代に大学に入学されました。4年間を本学で学び金沢の町で生活することで，高度な専門知識，様々なスキル，パブリックな倫理観を身につけ，さらには公に立って物事を考える力と課題を探求する能力を培うことになります。英語をはじめとした外国語や情報リテラシーなどの共通的なスキル，環境や資源問題に対する倫理観は，空間人であるがために必修のものでしょう。他方，広い視野をもち公に立って物事を考える力や，新しい知を創生するための課題探求能力は，国や地方の個性を輝やかせるうえで不可欠であり，これにはむしろ時間人であることが問われることになりましょう。

附属高等学校入学式

これまで我が国の大学生は，4年間の青春を謳歌することが社会人となるための準備であるとし，必ずしも勉学に熱中して来なかったきらいがあります。しかし，これからの我が国では，企業における年功序列や終身雇用の制度はもはや維持できませんし，学歴社会も崩壊しつつあります。このような時代にあって，諸君は学問に真剣に取り組まなければなりません。そして，部活動を通じてキャンパスライフを楽しみ，規則を順守した住民，市民として日常生活を送っていただきたい。大学生活4年の計は入学の今にあります。世界の情勢，日本の状況を正しく読み取り，時間人として空間人として，自分は何をすべきかを真摯に追求していただきたいと存じます。

角間キャンパスでは草木が萌動し，兼六園の桜の花がほころび，諸君の今日の入学を歓迎しています。伝統と歴史を維持し，新しい学術・文化が発展する学都・金沢で学ぶことを誇りとし，美しく実りのある青春の時を刻まれることを祈念し，告辞といたします。

大学・大学院等入学者数（内訳）

学部・大学院等	入学者数
学部（外国留学生14名を含む。）	1,903名
大学院修士課程及び博士前期課程	632名
大学院博士課程及び博士後期課程	188名
編入学	84名
特殊教育特別専攻科	11名
養護教育特別別科	27名
計	2,845名

教育学部附属学校園入学（園）者数（内訳）

学　校　名	入学（園）数
高等学校	125名
中学校	159名
小学校	107名
養護学校	17名
幼稚園	56名
計	464名

4月のビッグニュース

大学院医学系研究科，部局化

４月１日，医学部医学科講座が，大学院医学系研究科講座となった。それに伴い，医学部医学科教官が大学院医学系研究科に配置換えとなった。

（関連記事は６頁へ）

本学に機器分析センター

学内共同教育研究施設「機器分析センター」が設置され，4月6日，林学長をはじめ太田機器分析センター長（薬学部教授）ほか，学内関係者が多数出席し，表札上掲式を行い，設置を祝った。

左から林学長，太田センター長，水上事務局長

「なんでも相談室－よるまっしー」オープン

4月26日，総合教育棟で，「なんでも相談室－よるまっしー」のオープニングセレモニーがあり，田中教養教育機構長及び林学長があいさつの後，テープカットも行われた。

この「なんでも相談室－よるまっしー」は，学生がどのようなことでも気軽に相談できるようにとの趣旨で大学院生の協力を得て設置されたもので，併せてシラバス等の情報検索のために「総合情報検索室」が整備された。

左から田中教養教育機構長，畑副学長，林学長，花岡副学長，水上事務局長

4月のニュースの杜

52回を数える「暁烏記念式・記念講演会」

4月28日，金沢市中央公民館彦三館で，「第52回金沢大学暁烏記念式・記念講演会」が行われた。学外の施設で開催されるのは初めてとなる。

林学長が，暁烏敏（あけからすはや）師著書の感想を含めたあいさつの後，和田附属図書館長から式典の歴史について説明があり，続いて，暁烏家当主から謝辞があった。

記念式の後，田川建三大阪女子大学名誉教授による「世界宗教と日本人の宗教観」と題した記念講演が行われた。

講演する田川健三大阪女子大学名誉教授

工学部塚脇助教授 アンコールワットへ

3月7日から21日まで，世界遺産であるカンボジアのアンコールワットを保存・修復する国際研究プログラムに工学部の塚脇真二助教授が参加した。塚脇助教授は，遺跡崩壊の現状や，遺跡近くにあるトンレサップ湖の遺跡に与える影響などについて調査した。

現地学生等との交流

アメリカ法の日本法への示唆 －アメリカ法の最前線－ 法学部で特別講演会

4月16日，法学部で，米国カリフォルニア州・ジョージア州で活躍中の北川リサ美智子弁護士を講師として，法学部特別講演会が開催され，350名を超える教職員・学生が会場を埋めた。

北川弁護士は日米法的紛争を専門としており，当日はセクシャル・ハラスメントにおける法的紛争及び日本の米国子会社に係る差別雇用訴訟について講演し，出席者からの質問にも丁寧に答えていた。

講演する北川弁護士

医学教育，いま

「21世紀の超高齢化社会における医学課題の克服を目指す教育研究拠点」をめざして

医学系研究科改組

平成13年4月医学系研究科が改編されました。馬渕医学系研究科長のコメント及び改組の概要は以下のとおり。

大学院医学系研究科長
馬渕　宏

この春，金大医学部医学科は戦後最大の変革期を迎え，大学院に軸足をおいた“大学院大学”として大学院医学系研究科に改組され新たなスタートを切りました。医学部医学科は医師養成を主な目標とし，より高度な医学・医療の研究開発は大学院にゆだねられることになりました。医学系大学院は医学部卒業者だけではなく，広く他学部卒業者・修士課程修了者も積極的に受け入れ，医学博士，医薬学博士，学術博士のいずれかを修得できることになりました。夜間コースも設定し，勤務しながら履修できる体制となっております。多くの熱意ある大学院生が入学することを期待いたします。

改革の概要

目的重点型専攻への改組
- 基礎臨床融合型の大講座制
- ディレクター制
- トランスレーショナル・リサーチの推進

学際的生命科学研究の推進
- 自然科学研究者との連携
- プロジェクト研究

多様な大学院コース
- 医学/医薬学/社会人/国際/MD-PhD各コース

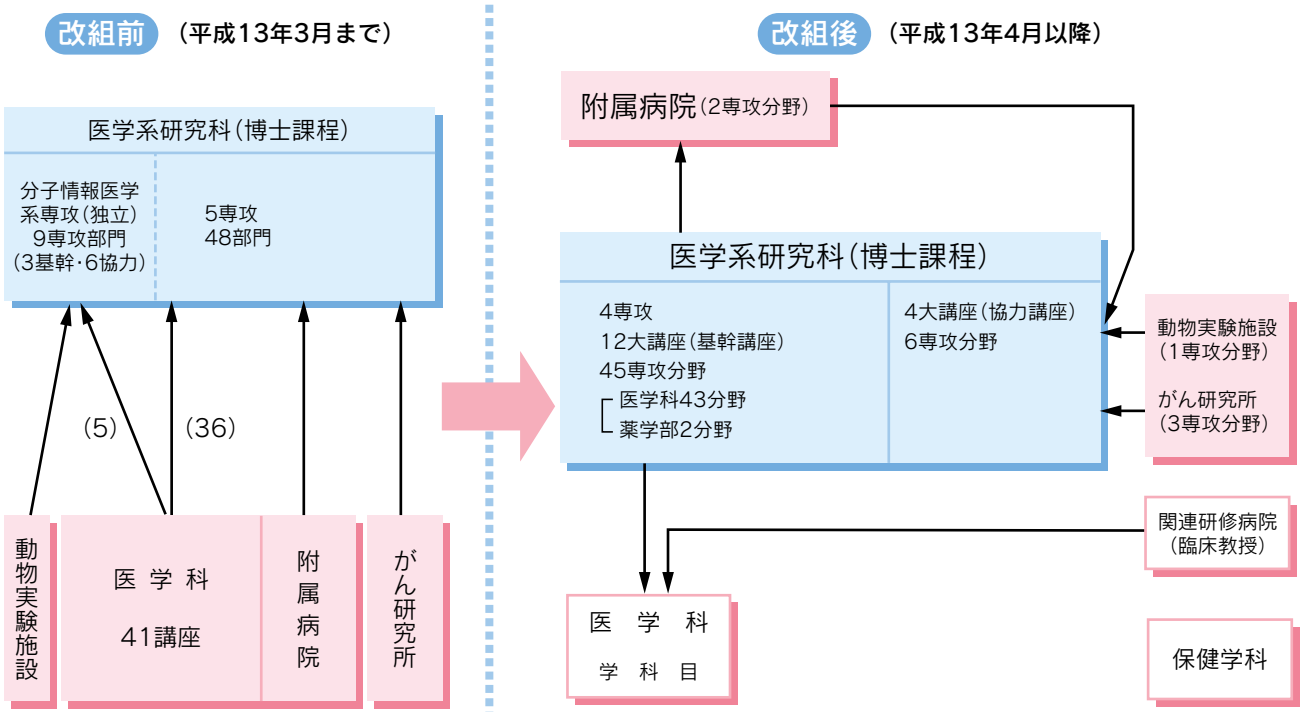
学部教育の充実強化
- 高度な先進的研究成果の学部教育への還元

評価システムと情報公開
- 教育内容の質的向上と積極的な情報公開

期待される効果

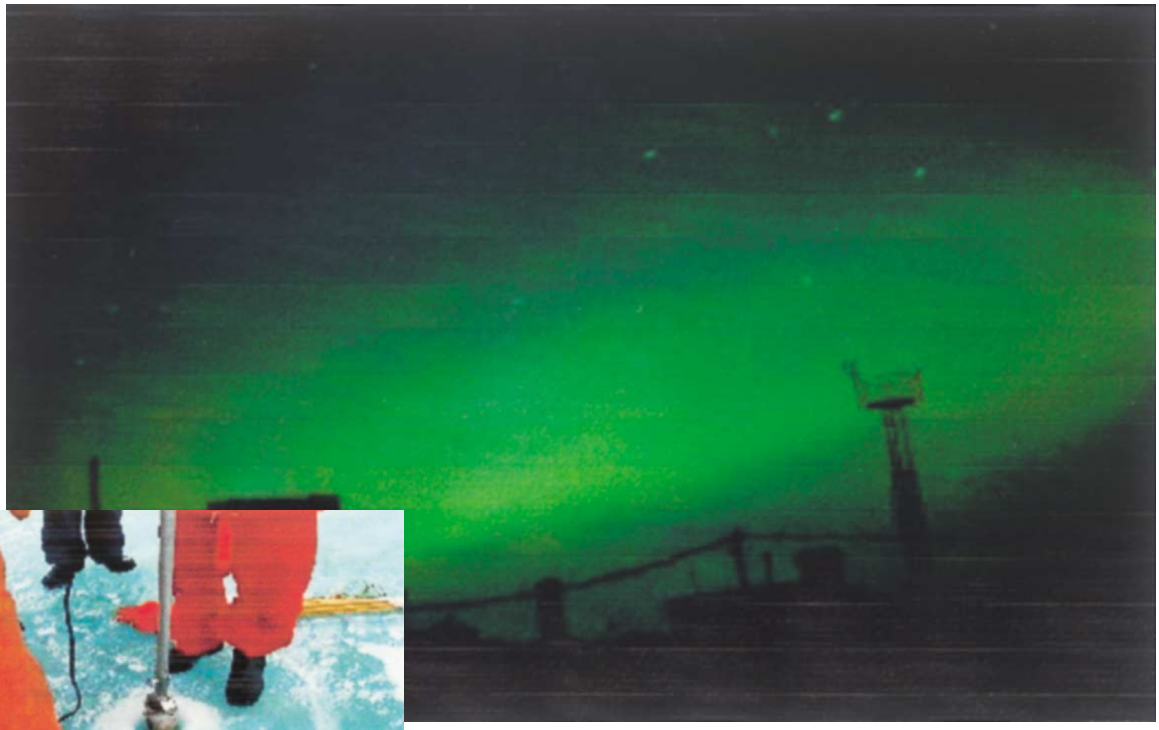
- 超高齢化社会における医学課題の克服
- 基礎と臨床の融合による先進的研究の発展
- 学際的・複合的な医科学研究の進展
- 統合的・先進的教育システムの確立
- 国際的な医科学研究リーダーの育成
- 21世紀へ向けた高度医療人の育成

金沢大学医学系研究科の改組



夜空に輝く南極のオーロラ

このほど，南極観測越冬隊員の技術支援センター久保栄技術専門職員から，南極のオーロラとハンドオーガーを使った氷の穴あけ作業の写真2枚が届いた。



光輝くオーロラ

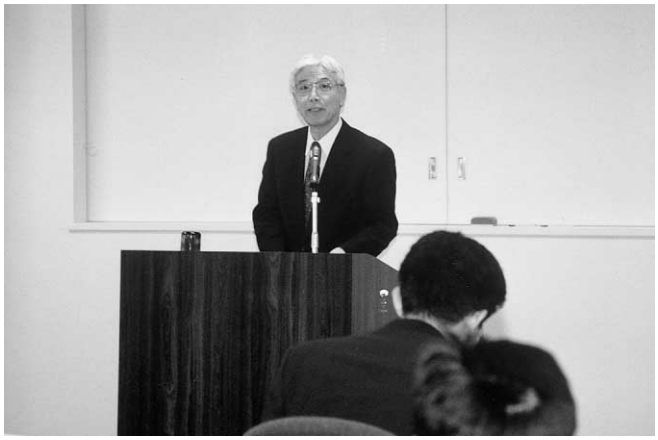
ハンドオーガーによる穴あけ作業

附属小学校で交通安全教室

4月17日，本年度附属小学校に入学した新入生107名を対象として交通安全教室が実施された。金沢中警察署から警察官3名うち（婦人警官2名）を招き，体育館で信号機の意味など基本的な交通ルールの説明を受けた後，横断歩道の渡り方等について実地訓練が行われた。

ニュースの杜

新規採用者対象の説明会・研修会



本学の課題等について説明する林学長

新任教官説明会

4月5日，昨年に引き続き新任教官説明会が開催され，約40名の教官が出席した。学長，各副学長，事務局長，及び各部長等から，大学改革，本学の課題と取組み，教育課程，学術研究，キャンパス・インテリジェント化，本学の組織運営，予算・会計制度，厚生補導，服務等の説明が行われた。

（10頁に関連記事を掲載）

新規採用者研修

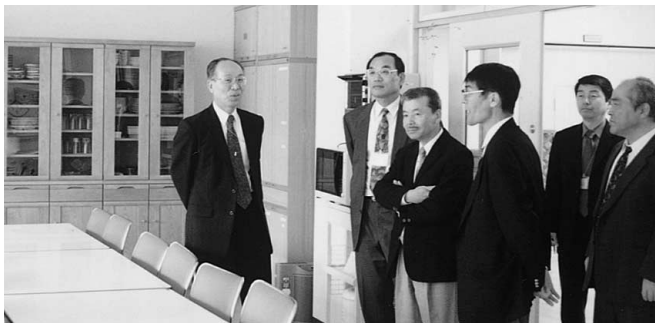
4月6日から12日まで，新たに採用された職員18名の研修が実施された。

研修会では，本学の沿革，組織や問題点，職員としての心構えや服務，倫理などの説明が行われた。また，第II期総合移転用地の見学や，病院業務も体験した。

熱心に聴講する受講者

水上事務局長 附属養護学校を視察

4月19日，体育館の新築及び校舎の全面改修を終えた附属養護学校を，水上事務局長が視察した。



左から水上事務局長，西田教育学部事務長
前田施設部長，久保総務部長

自己啓発研修はじまる

本学では，自己啓発研修の一環として「放送大学」の授業を活用している。4月26日，大学教育開放センターで，第6回自己啓発研修（放送大学平成13年度第1学期）の開講式があり，出席した17名の受講生に久保総務部長が激励した。

激励する久保総務部長

トピックス

春の叙勲受章の方々（本学関係分）

4月29日，平成13年春の叙勲受章者が発表され，本学関係では，次の6氏が栄えある叙勲を受賞した。（敬称略）

勲三等旭日中綬章
瀬嵐　哲夫
（名誉教授，
元教育学部長
元図書館長）

勲三等旭日中綬章
浅井　正友
（名誉教授，
元教養部教授）

勲三等旭日中綬章
髙松　吉郎
（名誉教授，
元工学部教授）

勲三等瑞宝章
宮本　又久
（名誉教授，
元教育学部教授）

勲四等旭日小綬章
森嶋　和次
（元事務局長）

勲六等宝冠章
廣瀬　禮子
（元医学部附属病院
看護婦長）

海洋化学学術賞を受賞

4月28日，京都市の海洋化学研究所で中西孝理学部教授が，「第16回海洋化学学術賞」を受賞した。この賞は，本学第2代学長であった石橋雅義氏を記念して設けられたもの。

石川テレビ賞を受賞

石田保之名誉教授

小村和久教授

「第24回石川テレビ賞」の受賞者が4月23日発表され，本学から理学部附属低レベル放射能実験施設長・小村和久教授及び石田保之名誉教授（元教育学部教授）が受賞した。

空き缶拾い清掃

新入生を受け入れる4月9日の入学式を前にして，4月4日から職員が中心となって全学で清掃が行われた。

あき缶を集める職員（角間キャンパスにて）

学長・副学長室

「金沢子ども科学財団」設立記念式典であいさつ

3月24日，「金沢子ども科学財団」の設立記念式典があり，理事長である本学の林学長があいさつを行った。

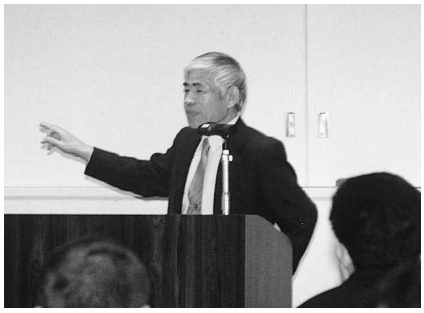
児童生徒の理科離れに歯止めを掛け，科学の心を養い，科学に対する関心と素養が培われていき，将来，社会の発展，人類の平和に貢献するための一助となることを目指し設立された。

なお，同財団は新「サテライト・プラザ」と同一施設で活動が行われる。

あいさつする林学長

新任教官説明会で説明する副学長（4月5日）

学術研究について



花岡副学長

教育について

畑副学長

キャンパス・インテリジェント化について

和田副学長

本学へのお客さま

4月3日，学長室で
テヘラン大学（イラン・イスラム共和国）

右から　ハダド･アデル･タユベ大学教授
　　ハダド・アデル・ゴーラムアリ大学教授
左から　本学留学生夫妻

4月25日，学長室で
アンダラス大学（インドネシア共和国）

右から　アムルムスリム･マリク副学長
　　マリス･ラフマン学長
左から2番目　エディソン･ムナフ理数学部長

4月20日，畑副学長室で
北京工業大学（中華人民共和国）

左側奥　周大森副学長
手前　趙暁華教授

サテライト・プラザ

仮オープン さっそく「第1回ミニ講演」

金沢市西町教育研修館で新「サテライト・プラザ」が4月14日仮オープンし，中西大学教育開放センター長が開設のあいさつを行った。

4月25日，新「サテライト・プラザ」で第1回目の講演会が行われ，約30名が聴講した。講師は中西孝大学教育開放センター長（理学部教授）で，第16回海洋化学学術賞の受賞に関連して演題は「海洋にプルトニウムの動きを追う」。

なお，この「サテライト・プラザ」は，火曜日を除き連日開設されている。

講演する
中西センター長

新「サテライト・プラザ」を見学

4月16日，事務局長をはじめ部課長を中心に25名が仮オープンした新「サテライト・プラザ」を見学した。

男子バスケットボール部：全国優勝

第14回国公立大学バスケットボール交流大会が，3月26日から29日まで，茨城県のつくば市で開催され，本学の男子バスケットボール部は強豪の筑波大を敗り，見事に初優勝の栄冠を手にした。

全国優勝を遂げた男子バスケットボール部員

４　月　の　で　き　ご　と

角間の里山自然学校で「春の植物観察会」

4月21日，角間の里山で「春の植物観察会」が開かれ，約30名が参加者した。なお，4月から前期教養的科目の総合科目で「里山－角間の里山の秘密をさぐる－」が開講し，138名の学生が人間と自然の共生のための知恵を学んでいる。

角間の植物にふれあう参加者

キャンパス点描

春の息吹

事務局脇で，コゴミを見つけた。コゴミは，春の最も早い山菜の代表の1つで，多くは山奥で採集される。

春を感じさせるコゴミ
（4月初旬撮影）

お詫びと訂正

「アカンサスニュース」第56号（2001年4月号）5頁の，「公開シンポジウム　プロジェクト金沢　開催」の記事について，上から9行目の「廣瀬幸雄本学共同研究センター長」は，「小森友明工学部教授」の誤りでした。ここに訂正し，お詫びします。

編集後記

１面でお伝えしたように，本年度前期教養的科目の総合科目「学問への誘い―金沢大学の目指すもの―」に，学長がトップバッターとして登壇されました。後々，本学が課題探求能力のある学生の教育に全学を挙げて取り組んだ象徴的出来事として，必ず評価されるような気がします。

９月頃には"仮"が取れる予定ですが，新「サテライト・プラザ」がオープンしました。できるだけ早く正規の授業も行う「サテライト・キャンパス」に発展させなければなりません。授業のほかゼミ，研究会等に大いに利用していただきたいものです。

なお，Web上の掲示板やコンベンション情報等に注意して，本学関係の情報収集に気を配ってはいますが，大事な情報が抜けることがあります。部局等からの積極的な情報提供に期待しております。

本紙の記事に関する御意見をお寄せいただければ幸いです。

（総務部企画広報室　西谷公作）

平成13年５月18日発行
（原則として毎月１回第３週に発行）
〒920-1192　金沢市角間町
編集　金沢大学総務部企画広報室
TEL　076-264-5022
FAX　076-234-4015
◆本紙の内容，その他の本学に関する諸情報については，「金沢大学ホームページ」〈愛称“KUPIS”（キュービーズ）〉（アドレス＝http://www.kanazawa-u.ac.jp）でもご覧にいただけます。
◆本紙に関する御意見・御要望などは，電子メール（E-mail）＝general1@kenroku.kanazawa-u.ac.jp　でも受け付けています。